

ガス食事も治療もしない

労災病院の医師全員辞表

治療はしない

大牟田労災病院では、一月十九日夜から、突然医師が一人もいなくなったので、家族の代表が二十三日、大牟田労災労働監督署を通知したところ、六名の医師全員が辞表を出したことが明らかにされた。

一方、労災病院の大塚理事は、患者代表に「通院の人は大塚病院にかわってもいい、入院中の人は三井先生にみてもらって」と語っているが、三井先生は本市に住んでおり、例えは夜中に突然病状が悪化しても、実際は医師の診断は十九日以後は受けられない状態になっている。

労災病院には、いわゆる「労災補償打ち切り」を受けていない人

も二十名もおり、この人たちは含めて八十三名の患者の治療は十九日から放りだされている。

二十三日午後、患者代表と会った安河内所長は「炭労と労働省の間の了解事項は知ってはいないが、患者の入退院は、医師と患者の間でできること、あんな了解事項など意味はない」と病人を放り出すことを当然のことのようにいつた。

この非人間的な態度に、基盤監督署に抗議したところ「あれは医療事業団のやることだから判らない」と無責任な態度を示した。

三十日、家族の代表は総会をもち労災病院に三十日から座り込んで

患者の完全治療の要求と、会社・政府の責任を追及する。

食糧せめて患者まつ殺

このことは、再審査を請求した第二組合患者の半数以上(五十五名)の取調復帰不可能の事実にあつた会社側は、政府・病院・基準監督署と一体となつて、食糧せめて強制的に退院させ、あくまで



労災病院の安河内所長は「患者の入院は認めていない」と患者を人間あつかいない発言をした。

〇一月十五日の夜のこ卒業後某海上火災保険会社にと。こは、馬渡宅。緒方つとむながら、いまも組合活動をやっているが、その夜リノックサックでかついできたのは、まったく真新しい世界文学全集が四十七冊。

「ぜひ、馬渡の子どもたちに読んでもらってください」といふので、つとむは、その全集を、ノックサックをその場にドサツとおいだした。

見ると、三池闘争以来、何回となくオルグとしてやってきて、馬渡の者クリするやら、感動するやらには忘れ難い顔の高橋紀昭さんだ。

〇まさに三池のたたかいが生んだ、美しい一つのヒビソード。

文学全集を47冊

高橋さんが馬渡へ寄贈

「ぜひ、馬渡の子どもたちに読んでもらってください」といふので、つとむは、その全集を、ノックサックをその場にドサツとおいだした。

三井の、労災補償打ち切り、を貫徹せよとするロコッな攻撃に対して、われわれはあくまで闘う。

職場に真の労働組合を闘う長崎造船

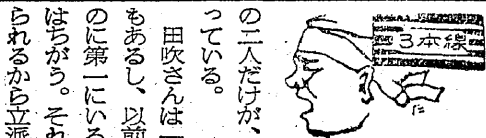
もの、もうくもくすれ去った。第一組合ができて一年間の状態から、労働条件の向上は期待できない。子どもたちの時代はどうか考えているのだろうか。

合理化による配転、十一月の組編成替えと一回の大きな移動があり、特に第一組合員がねらううちされた。

しかし逆に、いじめのないうちめてみると、かえって度胸をつけたい者もある。

だが仕事はきつ、帰って寝て出てきて仕事して帰って寝る、自分のことは何もできない。

会社は、労働者がだまっていれば、労働条件は上げてくれない。第一組合員一人ひとりが孤立しないように、つとむ、子のため、孫のためにも団結を、労働条件を上げ、社会を良くするのがわれわれの任務です。今年もがんばろう、



信念を通して

本所 田吹勝代さん

説得もうけたが

本所の田吹さん、七ヶ保育園の中島さんと田井一と第二の感情対立もなく仕事ができるという。

正しいと信じた道を

田吹さんが入社したのは、昭和三十四年で三池闘争直前である。

あとき、一番身近な保母仲間が首切られ、みんな最後までがんばった。あの資本の本質をみつ



思い出も深い三池闘争中の青空保育園で子どもとともに過ごした。

分装後丸一年がすぎた三井造船では、第一組合員千三百名で職場に真の労働組合を作るため、屈のたたかいを組んでいる。

その仲間から次のような職場の状況が送られてきた。

× × ×

分装後職場は暗くなり、正しいことも職制に対しては発言がない。昔なら大騒動を起こしかねない木型場の風扇撤去でも何もいわず、職制の思うままである。

また、朝の三分間教育の安全資料でも、このころは怪我するのは本人の不注意だと吹聴しているのに文句もいれない、批判もしない。不平不満も出さず、

労働組合という組織がありながら、こんなファシイ的なことが許されるのは、モノイワぬ第二組合ができたためである。

第二組合は自分のことしか考えていない。戦後二十年闘ってきた

三池でまなんだことを川崎で生かす

川崎セツル 染谷 長雄

前略

先日、突然三池に寄せていただいた折、大変お世話になりました。

ありがとうございます。

皆さん連日のきびしい闘いに頑張っていることと思います。僕たちも東京へもどると早速川崎の活動に取り組んでいます。

「三池」の感想は、事前の勉強が決定的に足りなかったこと、突然の訪問のため満足なスケッチにはおぼろげです。

組合員について (3) 三池組の地域対策について (主婦会などを含み) (4) 離職者、CO患者などの対策について (5) 機関紙「みいけ」について。

なお、通松社の方々は突然おじやまし、交流会を持つてくださったことに感謝しています。皆さんにようこそお伝え下さい。

川崎セツルメント 染谷 長雄

(1) 五人組について (2) 党と労働 富浦 藤沢様

【職場日記】

出勤表

高 椋 龍 生

日ごの係員から目に見えぬ圧力をかけられ、シンプン命まで縮めながら、おのが出勤表を見つめ、あきりめムードで溜息を吐いて、ひとりの気配をうかがっている。

星取表の裏側に押取「アッ、おれは誰かに一方負けてる。こんどは、いっちょ日曜出でがばらんなら」のちと家族のしあわせを、会社の思いつきにズルズル収奪しようとしていることを、はまりこんでいく哀れな龍生。出勤表だけが知っている。

(日曜出せんでも、なぜなら) 出勤表だけが知っている。

(一九六七、一一、一〇)